

と成る。而して生物は其枯死により分解して再び礦物界に歸す。斯の如くして此三界に於て循環止む時なし。但し畢竟世界に於ける礦物質は、漸々生物質に變ずるものと謂ふべし。蓋し地球の創始にありては、礦物のみにして生物は存せざりしものならん。

動物と植物とに於て、更に重要な關係の存するあり。動物は其生存上酸素を要し、炭酸瓦斯の多きを忌めども、植物は炭酸瓦斯を其重要な食物となす。故に地球上には、動物の呼吸(其他植物の呼吸、生物の枯死、有機物の醱酵・燃燒等により、炭酸瓦斯の生ずること盛なるにも拘らず、植物は之を吸收して空氣を清良にし、動物の生存に適せしむ。若し植物なくんば、空氣は暫くにして動物の生存に適せざるに至るべ

し、植物も亦炭酸なくして生存すること能はざるなり。動物は又植物の爲めに其果實・種子の散布を助け、或は花粉を運びて其繁榮を補助す。斯くして動植物の間、生存上密接の關係あり、互に相助くるなり。

第八章 自然界と人類との關係

人類は、自然界にありて自然物を利用し、之を衣食住の料に供し、以て其生存繁榮を遂げ、或は下等動植物の寄生に因りて多くの疾病を來す。然れども之を治療するの途も亦多くは自然物を利用するにあり。今其主要なる應用の項目を擧ぐれば、

一、飲食用として動物より乳肉を獲、植物より蔬菜・果實・穀物

砂糖等を收む。礦物より得る所の食鹽も亦重要なり。

二、**衣服用**として動物より毛・毛皮・絹絲を採り、植物より麻・綿を製し、又此等を以て布を織る。

三、**建築用**として植物より木材を獲、礦物より石材を得。

四、**工藝用**として動物より革皮・羽毛・象牙・鼈甲等を得、植物より木材・漆・ゴム等を收め、礦物より金・銀・銅・鐵等を得。

五、**藥品用**として植物より**モルヒネ**・**キナ**等を製し、動物より肝油・麝香等を得、礦物より硝酸・硫酸等を製す。又植物より香水を採り、染料も亦此等より製する所にして藍・**臙脂**等は植物より洋紅は動物より、**アニリン**色素は礦物より製出す。

六、**觀賞用**としては、植物最も愛玩せられ、動物も亦愛せらる

るもの少からず。鳴禽類は、よく囀るを以て、あうむいんこは、よく人語を模するを以て、孔雀・鶴の如きは、其形壯麗なるを以て愛育せられ、ひごひ・金魚の如きは、其色の美なるを以て愛養せらる。

要するに、自然物の研究進むに従つて、益、其性質效用を明かにし、人生に對する利用厚生の途益増進すべし。故に自然界の研究進むに従つて、社會の福利益増加すべし。是れ博物學研究の重要な所以の一なり。

博物學の研究は、單に福利増進の爲めのみにあらず。蓋し自然界は、美妙の伏在する所にして、之を研究するに従ひ、益、其巧妙精緻なるを感じ、吾人の精神をして純潔誠意ならしめ、高尚優美ならしむるものなり。是れ博物學研究の重要な

所以の二なり。

動物教科書 終

明治三十七年五月四日印
 明治三十七年五月七日發
 明治三十八年一月七日訂正再版印刷
 明治三十八年一月十日發

中動物教科書

定價金六拾五錢

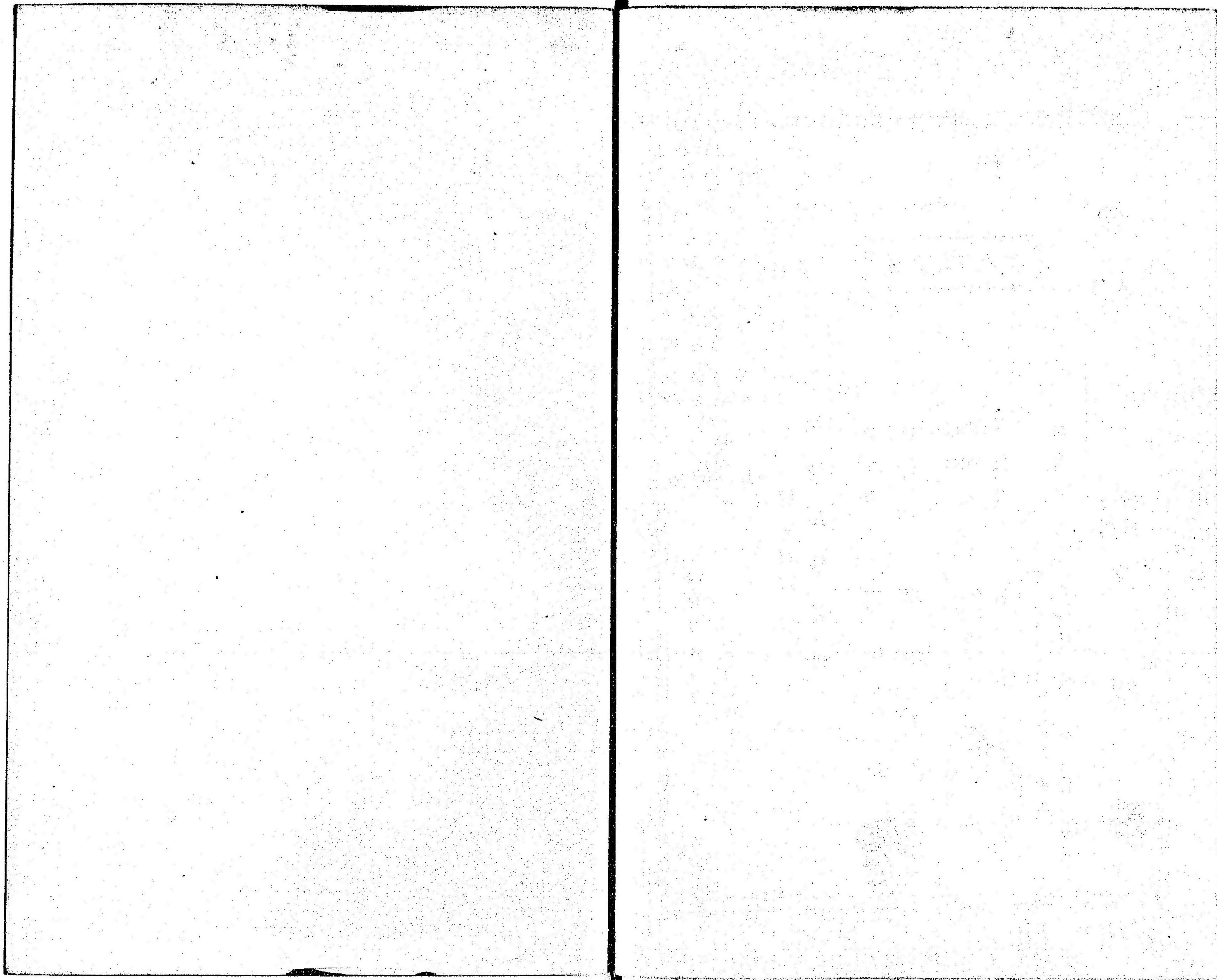
明治三十八年一月廿三日
 文部省檢定濟
 中學校博物科用教科書

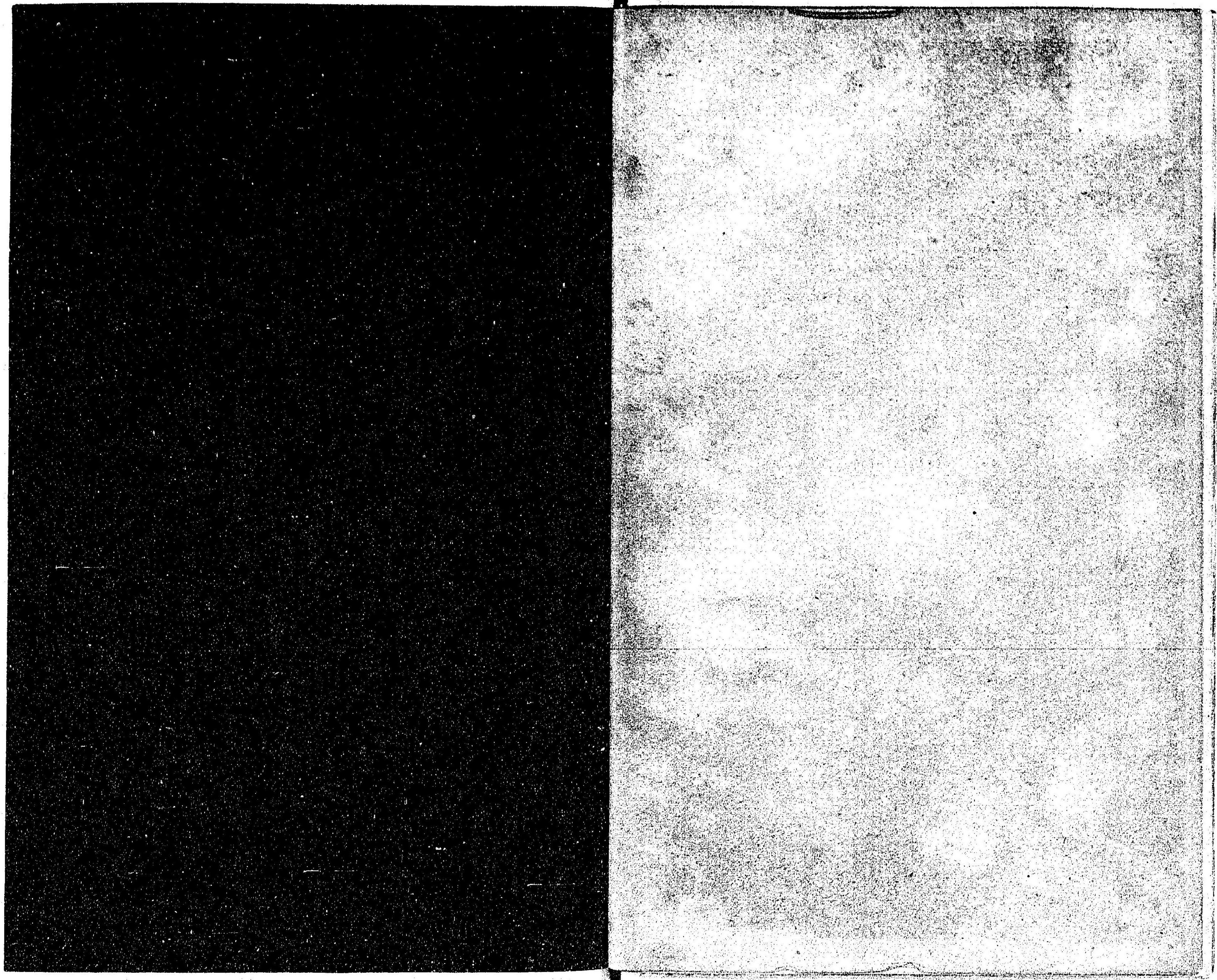
著者 岩川友太郎
 同 塚本常之助

印刷所 東京市日本橋區本町四丁目十六番地
 代表者 小林義則
 印刷所 會社文學社工場

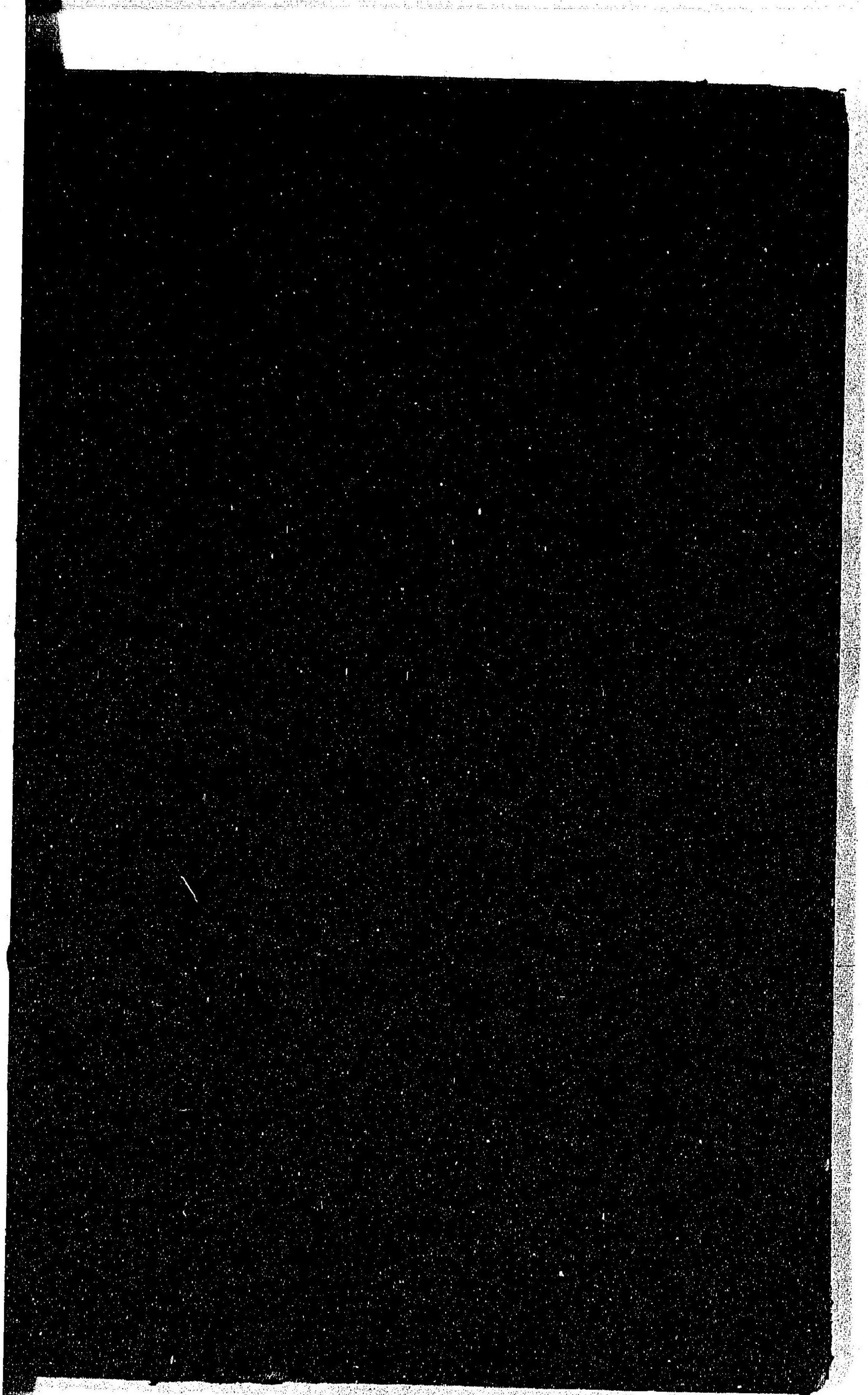
發兌

會社文學社
 會社文學社





77
424



(M)

057521-000-0

77-424

中学動物教科書

岩川 友太郎

塚原 常之助 / 著

M38

CAR-0099



